

西海ブロック水産業情報

NO. 90 (平成27年7月～9月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○有明海 (ノリ養殖) かき殻系状態培養は6か月が経過し、7割が成熟しおむね順調。9月末から採苗に向けた熟度調整に入る。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・魚類による食害はほぼ収束。被害は軽微。成長、生残とも良好。 ・台風15号の影響により、一部でイカダ破損、カキの脱落等の被害有り。 【栽培漁業】 ・クルマエビ、ヨシエビならびにガザミの中間育成を実施。 ・「かぐや方式」によるアサリ増殖試験を実施。 【資源管理】 ・漁協青壮年協議会が抱卵ガザミの再放流を実施。</p>	<p>○玄海 ・ナマコ: 7月上旬から9月上旬に約115万個(10～20mmサイズ)配布。 ・クロアワビ: 平成25年度産: 8月上旬に放流用1.2万個(30mmサイズ)配布。 平成26年度産: 殻長11～26mm 約15万個飼育中。 ・アカウニ: 9月下旬から種苗生産開始。</p> <p>○有明 ・クラゲ資源保護 近年、夏場の重要な漁獲対象となっているピゼンクラゲについて、佐賀県有明海区漁業調整委員会指示により、採捕サイズや採捕区域、使用漁具(固定式刺網の網丈や長さ、目合)等の制限を行い、資源保護を図った。</p>		<p>● 7月から9月のカレニア・ミキモトイ赤潮発生により、長期間にわたり各養殖魚種で鰓の損傷等が確認された。また、この赤潮の影響により、様々な魚病の発生を惹起している可能性が高いと思われた。</p> <p>● シマアジ、カンパチ、マダイでイリドウイルス感染による斃死が発生した(赤潮の影響が少なからず有りとの判断)。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・放流用シラヒゲウニ種苗(殻径@26mm)約2万個配布 ・試験養殖用イワガキ種苗(殻径@64mm)約2万個配布 7月中旬に鶴島里港内でGonyaulax polygramma、下旬に鹿児島湾奥でProrocentrum sigmoidesによる赤潮が発生したが、漁業被害はなかった。 8月に八代海南部でKarenia mikimotoiによる赤潮が発生し、漁業被害があった。 9月上～中旬に八代海南部でChattonella antiqua、下旬に長島町伊唐湾でHeterosigma akashiwo、長島町脇崎湾でCochlodinium polykrikoidesによる赤潮が発生し、Cochlodinium polykrikoidesによって漁業被害があった。</p>	<p>7月中旬から県北北浦湾を中心に北浦から土々呂の広い海域でカレニア・ミキモトイが注意レベル(100cells/mL)を超える濃度で確認され、7月21日には北浦湾湾奥部で5,850cells/mLの濃度で拡大し、湾の広範囲で着色が見られた。9月上旬にはカレニア細胞はほぼ見られなくなり終息したが、8月中旬に、一部湾奥で12,600cells/mLの最高値が確認された。なお、7月において、養殖カンパチを中心に20,590千円のへい死事例が発生し、平成24年度以来の被害となった。</p>		<p>・沖縄県水産海洋技術センターが保有していたオキナワモズクの株が、品種名「イノへの恵み」として、オキナワモズクでは初めて品種登録された(平成27年9月29日品種登録番号24443)。</p>